



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	バス停「プール前」とローソン東京学芸大学前店(fulltext)
Author(s)	鈴木,明哲
Citation	東京学芸大学大学史資料室報, 3: 55-57
Issue Date	2016-03-31
URL	http://hdl.handle.net/2309/159337
Publisher	東京学芸大学大学史資料室
Rights	

す。これも陸軍技術研究所に由来する建造物だそうですが、プールが大学の所有になってからは一度も使われた形跡はないそうです。

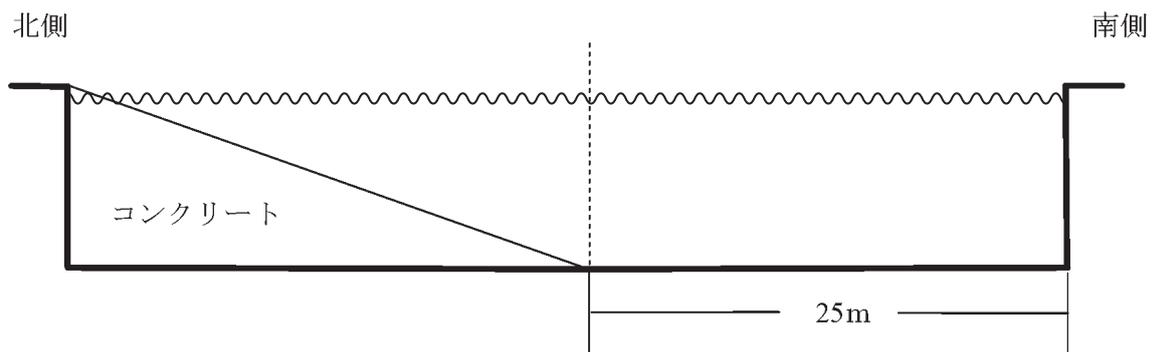


関東地区国公立水泳競技大会（1968年）写真 A



同左 写真 B

さて、プールの形状ですが柴田先生によりますと以下のような断面図になります。



北側に行くに従い、水深が徐々に浅くなり、ちょうど海浜のような形状をしていたそうです。上陸訓練用のプールだったのではないかと柴田先生は仰っております。クラブや水泳の授業では、水深が一定している南側の 25 m だけを使用していたそうです。このプールの大変だったところは、循環装置がなかったために時に水面が藻に覆われ、プールから上がった時には全身緑色に染まっていたそうです。元々は人が泳ぐためのプールではなかったことがわかりますが、先輩たちの苦勞が偲べれます。

なお、先にも挙げました 1971 年度の『大学の生活』という冊子によりますと、当時、本学では水泳は必修とされ、全学生が最低 50m 泳げないと単位が取れないことになっていたと記されております (p.96)。つまり、卒業要件になっていたということで、今からは想像もつかない厳しさですが、そのような先輩たちが学校の先生となり、子どもたちの運動能力を支えてくれていたのでしょう。先輩たちの力強さに感服です。

さて、最後になりましたが、バス停「プール前」についても少し触れておきましょう。(バス停「プール前」の写真参照) (株)京王電鉄バス管理部経営企画担当の渡辺耕祐さんに電子メールでうかがいました。渡辺さんによりますと、1956 年に「武蔵小金井駅前～学芸大北門～サレジオ学園前」という路線が開業し、その時にバス停「プール前」が誕生しました。もうじき満 60 年になります。渡辺さんからは、「長年に渡り地域になじんでいる名前なので、現在でもバス停名称として使用し、今のところ名称変更の予定はございませんが、将来にわたりこの名称が継続使用されるかは正直わかりかねます。何卒ご理解下さいませ」というお返事をいただきました。当分の間はなくなる様子。なぜか

ほっと安心しました。そして勝手に東京学芸大学を代表して（株）京王電鉄バスに、バス停「プール前」の存続を要望
させていただきました。

かつてローソン東京学芸大学前店には本学のプールがあり、しかもそれは陸軍技術研究所から続く戦争の時代を伝え
る建造物であったことを、バス停「プール前」の標識は私たちにひっそりと伝えてくれています。



バス停「プール前」 2016.2月撮影